

家族の数だけ

笑顔があります



△期間中のイベントで市内に咲いた子どもたちの笑顔

●●●水都っ子ウィーク(8/2~8)で 親子の絆深まる●●●

「子育て日本一」を目指す大垣市は、8月2日～8日を「水都っ子ウィーク」として定め、親子の絆を深める期間としています。

4年目となる今回は、期間中に市内各所で、子育て講座や親子で楽しめる催しなど40を超える事業を展開。水都まつりの期間とも相まって、まちの至る所で笑顔の華が咲いていました。

7月28日には、イベントとして子育て総合支援センターで、「子育て応援わくわくフリーマーケット」を開催。先輩パパ・ママからの情報交換の場、子育て世帯の交流の場として、大

勢の親子連れが訪れました。

8月1日からは、市内3か所のショッピングセンターで、幼稚園・保育園・幼稚園の5歳児の「家族」をテーマにした絵画を展示。どの会場も、家族の手を取り、自身の力作を探す子どもたちにあふれていました。

4日には、小川市長も参加しての啓発活動、6日には南部学校給食センターを開放しての親子調理体験「千人釜を混ぜよう」など、数多くの事業が行われました。

みんなに参加して欲しい子育て

「子育て」の形は、さまざまです。家族そろってのお散歩やお出かけ、ママのお手伝い、パパとのキャッチボール、祖父母とのふれあい、地域での声かけ……。

日常生活における子どもたちとの関わり全てが「子育て」となります。皆で、子どもの幸せを第一に考え、子どもと過ごす時間を大切にしましょう。

そうした想いが、「子育て日本一」の大垣市をつくります。



子育て応援わくわくフリーマーケット

まだ間に合う

親子で夏の思い出づくり

■20万本のヒマワリ畑

8月下旬から9月上旬/墨俣町上宿(墨俣地域事務所周辺)



■奥の細道むすびの地記念館夏まつり

9月1日(日)まで/奥の細道むすびの地記念館一帯

■ダンボールアート遊園地

9月1日(日)まで/スイトピアセンターアートギャラリー

■わくわく夏のフェスティバル2013

9月1日(日)まで/情報工房交流サロン



に努めてまいります。フットボールの普及推進に努めてまいります。フットボールの普及推進に努めてまいります。フットボールの普及推進に努めてまいります。



(7月29日、北海道石狩市)

9月7日・8日には、浅中公園総合グラウンドで日本女子ソフトボールリーグ2部の試合が開催されます。市は、これに合わせ、バックスクリーンやカウント表示板などを整備しました。また、大会運営には、ボランティアとなるサポーターの皆さんにも参加いただき、会場清掃や無料ドリンクコーナーのお手伝いをしていただきます。ソフトボールは、男性も女性も、子どもも年配の人も楽しめるスポーツです。大垣では、毎年、地区対抗の大会が開催されるなど、市民スポーツとしての基盤があります。こうした機運は、国体を機にさらに加速されました。

昨年開催された「ぎふ清流国体」において、人気のあった競技の一つに、市内で行われた成年女子のソフトボールが挙げられます。岐阜県チームは、大垣ミナモソフットボールクラブを中心に編成され、毎回多くの皆さんの応援を受けました。結果、優勝は逃したものの、5位と健闘しました。

この盛り上げりを終わらせてはいけないと、大垣ミナモソフットボールクラブは国体後も活動を続け、今年度、日本リーグに加盟しました。7月末に行われた第34回全日本クラブ女子ソフトボール選手権大会には、県勢で唯一出場。初戦、準々決勝はワールド勝ち、準決勝、決勝は連続完封勝ちと、2年連続優勝を果たしました。

がんばれ
大垣ミナモソフト!!

市長の
なやみぎん

大垣市長 小川 敏